

第1回設楽ダム環境検討委員会 議事概要

○日時：平成20年12月13日（土）15:00～17:00

○場所：桜華会館3階「桜花の間」

○出席委員：松尾直規委員（委員長）、有田豊委員、小笠原昭夫委員、田中正明委員、前田喜四雄委員、森誠一委員、西條好迪委員

○議事概要

◆委員の紹介

◆最近の動きと今後の流れについて

◆環境関係の各種委員会の役割と関わりについて

◆松尾直規委員を委員長に選任

(1) 委員会の設立趣旨及び規約(案)について

委員：この委員会でデータの分析までは出来ないのではないかと。

事務局：事務局で分析を行った結果や方法等について至道・助言をいただきたいと考えている。

委員：資料-3の分科会との関わりはどうなっているのか。規約にワーキンググループやプロジェクトチームを立ち上げることを入れても良いのではないかと。

事務局：場合によってはワーキングを立ち上げて、そこの意見を聞くことができるようにする。

委員：資料-3の委員会・分科会の関連図について、双方向に意見等の交換ができるようなフローを加えるとよい。

(2) 貴重種の位置情報公開について

委員：文章が「動物は移動するから位置情報を示してもよい」というように捉えかねられないため、再考すること。

事務局：委員の意見を伺いながら今後検討する。

(3) 環境保全措置、事後調査、配慮事項の計画について

本項目については、委員会の開催時間の都合により委員の質疑応答に十分な時間がとれなかったため、後日書面にて質疑応答を実施することとした。

(4) 今後の委員会の開催について

委員 : ここでは分科会での結果報告とそれに対する意見を聞く場とすればよいのではないか。内容については保留し、個別に意見を集めて対応を考えるのということかどうか。

委員 : 委員会は年 1 回であれば相当時間をかけないと議論できない。年 2 回は開催したほうがよいのではないか。また、随時ワーキング等を行い、個別委員会の結果を報告する場を設けた方がよい。

委員 : 今回は年度末にもう 1 回行っていただき、意見に対する報告をしてはどうか。

委員 : 委員会資料はなるべく少なくしてもらって、大事なことを説明してもらえれば良い。

事務局 : 頂いたご意見を取りまとめて年度内にもう一度委員会を開催させて頂く。